

飯田・下伊那地域の現地機関の関係者との意見交換会の概要

- 現地機関の見直しについて、下伊那地域からは、複数の現地機関に対し複数の団体から存続等の要望書が提出されたことから、今後の審議の参考とするため、関係団体の方々との意見交換会を行った。
- 当日は、意見交換会の前に、下伊那南部建設事務所、飯田保健所阿南支所及び下伊那農業改良普及センター阿南支所を視察し、業務内容の概要などの説明を受けた。
- 意見交換会の概要は以下のとおり。

- 1 日 時 8月6日（水） 13:20～15:50
- 2 場 所 下伊那郡阿南町役場 2階会議室
- 3 出席委員 松岡会長、市川委員、島委員、高橋委員、中畠委員、中村委員
- 4 関係団体出席者 別紙のとおり
- 5 関係団体から出された主な意見

市町村長・南信州広域連合

- ・下伊那地域の広大な面積、厳しい地形、県庁や飯田市からの距離、過疎化の進行、少子・高齢化、厳しい市町村財政、合併したくてもできない状況などを考慮し、見直し対象4機関（飯田保健所阿南支所、下伊那農業改良普及センター阿南支所、下伊那南部建設事務所、飯田教育事務所）の存続をお願いしたい。
- ・現在ある機関がなくなると「県から見捨てられた」と思うのが住民感情であり、そうした住民感情を考慮してほしい。

○飯田保健所阿南支所の存続要望について

- ・支援対象者の高齢化が進み、後期高齢者の特定健診、特定保健指導の義務化、精神障害、発達障害、難病対策等保健所の業務が増加している。
- ・19年度の老人医療費が一番低いのが売木村、次が泰阜村だった。これは市町村、診療所、保健所、阿南病院等を構成員とする下伊那南部保健医療協議会による地道な公衆衛生活動の成果であり、保健所の役割は大きく、引き続きその責任を果たしていくことが重要である。
- ・母子、精神保健の仕事は市町村へシフトしたが、県としては、それは市町村の仕事だから関係ないという立場をとるのか、それとも県として支援していくという立場をとるのか二つの考え方があり、地域の指導的立場の保健所を積極的な意味で残して欲しい。

○下伊那農業改良普及センターの存続要望について

- ・下伊那地域は標高差や地形的な厳しさがあり大規模な農業は難しい。高齢化も進む中で、地域の一番大事な農業（林業）振興のためにも存続をお願いしたい。
- ・農業（林業）が地域の基幹産業であり、その振興のためにむしろ充実すべき。

○下伊那南部建設事務所の存続要望について

- ・伊勢湾台風の対応で設置され現在まで存続してきた機関であり、降雨災害が多い地域で安全な生活をするために存続させるべき。
- ・現在道路改修が進んでいるのも南部建設事務所があるからである。

○飯田教育事務所の存続要望について

- ・へき地校・小規模校が多く存在している。教育事務所を統合するなら飯田に置いてほしい。
- ・少子化の中で将来を見据えた学校教育のあり方を検討する大事な時期であり、存続を。

農業関係団体（下伊那農業改良普及センター阿南支所の存続要望について）

- ・特定の品目を大量に生産する平坦部と違い、特産品の開発や付加価値を付けて販売しないと農業が発展しない。現地で試験を受け持ったり、製品開発のてこ入れをしたり、新しい取り組みには必ず普及員が関わってくれている。普及センターのような指導機関が必要。
- ・人を相手に技術を教えたり、組織づくりやリーダーの育成が必要。それには現地にないとだめ。山間地こそ支所が必要。
- ・地域の運営そのものを農家が担っている。多産業の発展が難しい地域であり農業の振興こそが地域の発展である。そのためむしろ普及センターの増員をお願いしたい。
- ・ほかの産業もあるが農業が伝統的で一番地に付いた産業である。その農業の新しい取り組みには必ず普及員が関わってくれている。夜の会合も多いが一生懸命取り組んでくれている。

教育関係団体（飯田教育事務所の存続要望について）

- ・飯田・下伊那地域の教育関係機関等と教育事務所間の距離・所要時間が大幅に増大することになり、現在の密接な関係が疎遠化し、諸問題への迅速で密度の濃い対応が困難になる。
- ・飯田教育事務所は、指導主事が現場へ出向いて研修を行うなど独自施策等を実施しているが、統合に伴いこれらの継続的实施が困難となることが懸念される。
- ・長野県下のへき地校 63 校中、29 校（46%）が飯田教育事務所管内。また、飯田教育事務所管内小中学校 71 校中 41%が山間地域小規模校で南に偏在し、また道路事情が悪く、伊那から遠い。
- ・臨時教員や若い教職員、事務職員が多く、飯田教育事務所が行う研修の機会が必要である。また、3 人以下の教委が 60%もあり、教育事務所が支えている。
- ・不審者、インターネットの問題、心の問題、自然災害など命に関わる問題が多い。一刻を争うような事態が起きたときに教育事務所がすぐに駆けつけ、動いてくれる体制であってほしい。
- ・飯伊地区社会教育委員会連絡協議会の事務局は飯田教育事務所の教育課長が事務局長、指導主事が事務局員。このような場がなくなったら、時間的・経済的にも今までのような連携は難しい。
- ・飯田、下伊那の公民館活動は活発であるが、これは教育事務所の力も大きい。もし飯田教育事務所がなくなれば公民館活動が停滞するのではないか。
- ・PTA連合会と教育事務所の連携が強く、いろんなことがスムーズにいつている。親の立場からも、教育と行政改革は違うと考えている。今まで以上の充実を。

行政機構審議会現地調査意見交換会出席者

日 時 平成 20 年 8 月 6 日（水） 13：20～

場 所 阿南町役場 2 階会議室

区分	所 属	職	氏 名	備 考
市 町 村 長	飯 田 市	収入役	福田 富廣	代 理
	阿 南 町	町 長	佐々木 暢生	
	下 條 村	副村長	熊谷 浩平	代 理
	売 木 村	村 長	松村 増登	
	天 龍 村	村 長	大平 巖	
	泰 阜 村	村 長	松島 貞治	
	豊 丘 村	村 長	吉川 達郎	副広域連合長
	南信州広域連合	事務局次長	土屋 寿憲	
	計		8 名	
農 業 関 係	下伊那南部ブロック農業委員会協議会	会 長	村松 敏弘	阿南町農業委員長
		副会長	奥田 榮（しげり）	売木村農業委員長
			吉村 昭雄	下條村農業委員長
			宮澤 敏仁	天龍村農業委員長
			櫻井 安弘	泰阜村農業委員長
	計		5 名	
教 育 関 係	飯伊市町村教育委員会連絡協議会	会 長	牧野 欽次	飯田市教育委員長
		副会長	小木曾 忠吉	下條村教育委員長
		副会長	大原 成章	喬木村教育長
		理 事	伊澤 宏爾	飯田市教育長
		理 事	宮下 公	豊丘村教育長
		理 事	板倉 恒夫	天龍村教育長
		理 事	小林 督司	阿南町教育長
	下伊那校長会	副会長	田添 莊文	飯田西中学校
		幹事長	後藤 正幸	高陵中学校
		小学校部会副部会長	湯澤 正農夫	浜井場小学校
	飯伊地区社会教育委員会連絡協議会	副会長	堤 久	かわらんべ
	飯田市公民館運営協議会	会 長	木下 陸奥	飯田市公民館長
	下伊那郡町村公民館運営協議会	会 長	松村 直彦	松川町公民館長
	飯伊 P T A 連合会	会 長	三石 高亜樹	
	計		14 名	

※ 市町村長は、農業関係・教育関係の意見交換も同席予定